

【2024 年度海外研修の概要】

(1) 単位認定科目

Field Study Trip (2 単位)

(2) 研修機関

Green International Technological College (以下、GITC) <フィリピン共和国>

(3) 派遣学生数

41名 (国際教養学部1・2 学年)

(4) 研修期間

2024 年 8 月 31 日 (土) ~ 9 月 8 日 (日)

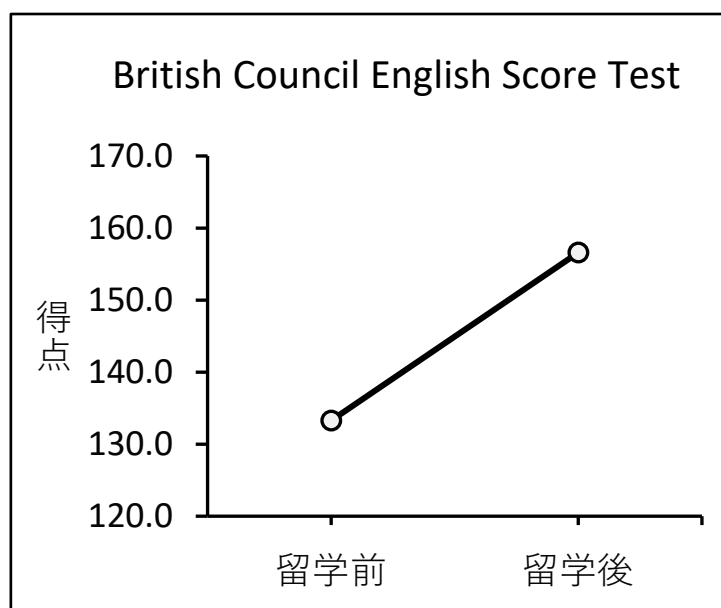
(5) 研修目的及び研修内容

第一の目的は、英語の実践力の向上である。そのために、マンツーマンレッスンでは英語しか使用できない環境の中で、各自がレベルに応じたテキストを用いながら、会話力の向上を図った。グループレッスンでは、博物館や市場訪問や創作活動などを通してコミュニケーションの実践を行った。

第二の目的は、SDGs がフィリピン社会でいかに取り組まれているのかを体験し理解することである。衛生埋立処分場を見学し、フィリピンのごみ問題とゴミ処理の仕方を学び、ゴミ問題に取り組む人々と共に、解決策を議論した。

【研修参加前と参加後の英語能力調査】

派遣学生に対し、海外研修参加前及び研修終了後に、それぞれ英語能力を測る語学能力テスト (British Council English Score Test) を実施した。海外研修の参加前後の英語能力の推移については、以下のとおりである。研修前の平均得点は **133.3 点**であったが、研修終了後には **156.6 点**まで上昇した ($p = .01$)。

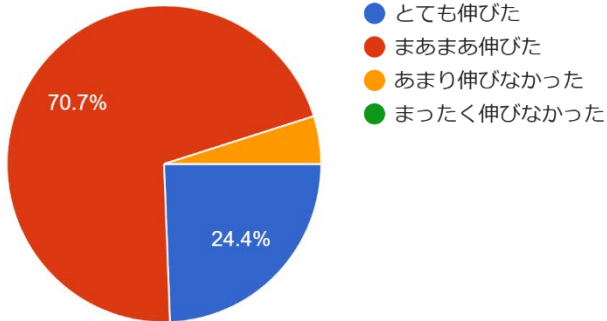


派遣学生の海外研修参加前後の英語能力の推移

【研修参加後の意識調査】

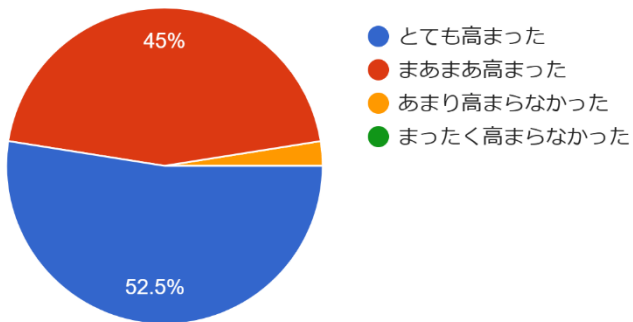
派遣学生に対し、海外研修参加後に英語学習やSDGs、異文化に対する意識に関する調査を実施した。調査結果は、以下のとおりである。

設問:「今回のフィリピン留学を通して、(行く前と比べて)自身の英語力はどれくらい伸びたと思いますか？」



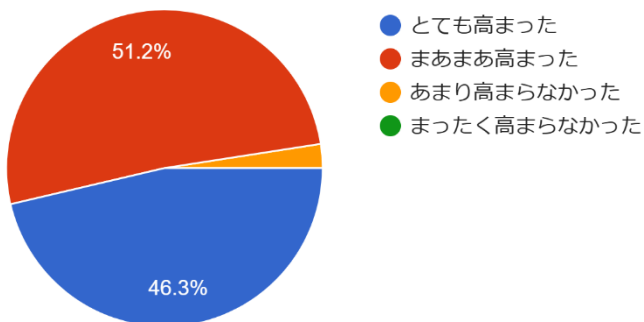
『とても伸びた』と回答した学生が 24.4%、『まあまあ伸びた』と回答した学生が 70.7%であり、9 割以上の学生が、海外研修の参加による、英語能力の向上を実感している。一方で、『あまり伸びなかった』と回答した学生は 4.9%であった。

設問:「今回のフィリピン留学を通して、(行く前と比べて)英語を学ぶ意欲はどれくらい高まりましたか？」



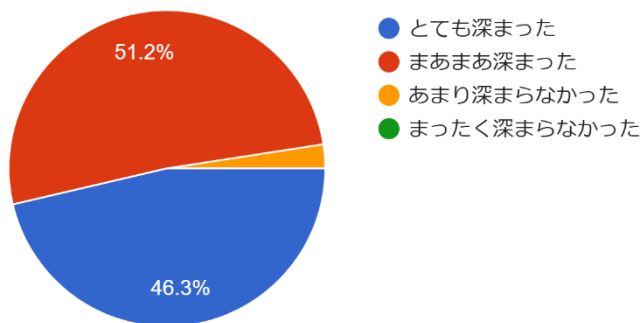
『とても高まった』と回答した学生が 52.5%、『まあまあ高まった』と回答した学生は 45%であり、9 割以上の学生が英語を学ぶ意欲が高まったと回答した。一方で、『あまり高まらなかった』と回答した学生が、2.5%であった。

設問:「今回のフィリピン留学を通して、(行く前と比べて)異文化について学ぶ意欲はどれくらい高まりましたか？」



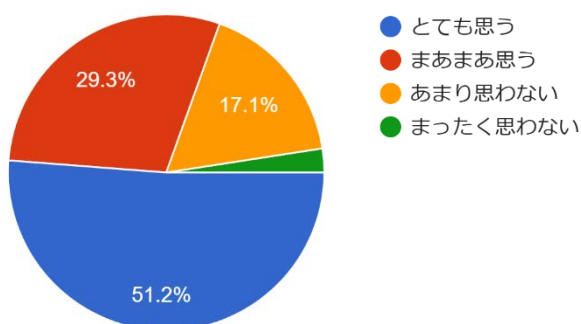
『とても高まった』と回答した学生が 46.3%、『まあまあ高まった』と回答した学生は 51.2%であり、9 割以上の学生が、海外研修の参加による、異文化についての学習意欲の向上を実感している。一方で、『あまり高まらなかった』と回答した学生が、2.4%であった。

設問:「今回のフィリピン留学を通して、SDGs／環境問題について、(行く前と比べて)どれくらい理解が深まりましたか？」



『とても深まった』と回答した学生が 46.3%、『まあまあ深まった』と回答した学生は 51.2%であり、9 割以上の学生が、海外研修の参加による、SDGs についての学習意欲の向上を実感している。一方で、『あまり深まらなかった』と回答した学生が、2.4%であった。

設問:「再度、海外留学に行ってみたいと思いますか？」



『とても思う』と回答した学生が 51.2%、『まあまあ思う』と回答した学生は 29.3%であり、約 8 割の学生が、海外への留学に意欲的であることが確認できた。一方で、『あまり思わない』『まったく思わない』と回答した学生が、19.5%であった。

参加学生の感想

フィリピンでの海外研修から帰国した後、2024 年 9 月 10 日と 10 月 15 日に、参加学生に対してアンケートを実施し、感想を集めた。以下に参加学生の感想から読み取れるおおよその傾向を、「英語力」「異文化ならびに SDGs／環境問題への関心」「海外留学」の三つを中心にまとめた。

「英語力」については次のような学生の感想があった。・・・「英語の会話を実際に海外の人と会話し学べる機会があってよかった」「自分の英語力を確認でき、もっと英語が出来るようになりたいと感じました。」「英語を聞いて理解して話すことができるようになったのでためになる留学でした」「最初は心配することが多かったが日が経つに連れて慣れていけたのでよかった。英語を使ってコミュニケーションをとるのも難しかった」「グループ授業では先生の話すスピードに着いていけなかったり、単語の意味がわからず、友達に任せてばかりになってしまったけど、グループの人たちといろいろなところに行けて、異文化を学ぶことができたり、グループのみんなと仲良くなれてとても楽しかったです。マンツーマンでは、リスニングはなんとなくできるけど翻訳を使わないと話ができなかったのが不甲斐なく感じました。日本に帰っても英語の勉強を頑張りたいと思いました。」「友達との仲がより深まり、協力して楽しく英語を学び、フィリピンについて学ぶことができとてもいい経験になりました。また、今回は翻訳機を使用したので会話が良かったので英語を勉強して自分の力で話せるようになって海外にまた行ってみたいと感じました。」

参加学生の記述からは、海外の人と直接、話すことにより、英語力の向上について一歩ふみ出せた様子がうかがえる内容が多く見られた。同様に、友達に任せてばかりであったり、翻訳機を使用したので会話が良かったりと、出発前に日本で英語力をあらかじめ向上させておく必要があると思われる記述もあった。これらは、「気づき」という点で、今後の参加学生の英語学習への取り組みという点で、期待のもの

てる発展的な成果であったと言えよう。海外研修は、出発前、そして帰国後も、地道に英語学習に取り組む貴重な機会となったと思われる。

「異文化ならびに SDGs／環境問題への関心」については次のような学生の感想があった。・・・「教会が多く見られ、フィリピンは神を信仰していることがよくわかりました」「日本と文化の違いが沢山あり外に出るだけでも大変だったが、徐々に慣れてきて沢山楽しめた」「日本との環境の違いに最初は違和感があって最初は慣れず生活しづらかったけど、少しずつ慣れてきてきたのでよかった。不安でどうなるのかと思っていたが、フィリピンに来て良かったと思います。」「ご飯が口にあうものがすくなかった」「フィリピンの文化を知ることができとても楽しかったです。ありがとうございます。」「ダンプサイトの積み重なったゴミは日本じゃ絶対に見れなかった。本当に来てよかった。」

参加学生の記述からは、宗教や文化、環境や食生活の違いなど、現地に行かなければ分からない貴重な経験を得ることができた様子が見える。また SDGs 学修の一環として、現地の NGO スタッフの案内により、衛生埋立処分場 (Sanitary Landfill) を見学したが、そこから見える貧困や環境問題の情報は、参加学生の世界への視野の広がり、という点で重要な体験となったと思われる (学生が感想で指摘した廃棄物処分場 (ダンプサイト) は、現在は廃止され、衛生埋立処分場になっている)。参加学生の記述からは日本では見られないような世界の様子を見たことが記述されており、今後の SDGs や環境問題への関心について、貴重な発展につながる様子があったことがうかがえる。

「海外留学」については次のような学生の感想があった。・・・「初めての海外だったが、良い経験がたくさんできました。」「現地の人と会話ができた」「フィリピン留学を通して他国の文化や生活言語の違いに少し戸惑いもあったけど意外にも仲良く喋れたのでよかったです。」「初の海外体験は自分にとってとてもいいものになりました」「日本と環境が違ってすごく違和感があって最初は慣れなかったけど少しずつ慣れてきた。ずっと不安だったけどフィリピンに来て良かったと思いました。」「体調管理がとても重要だということをととても感じさせられました。」「今度留学するときは、ある程度きれいな国に行こうと思いました。今回の留学を通して、このような国で暮らす人たちもいるということを実感しました。将来はこのような国に、しっかりしたインフラを整備できる活動に参加できる仕事につきたいです。」

参加学生の記述からは、海外へ行くこと自体が貴重な経験であったことが見える。慣れない環境のなかで、様々に模索しチャレンジしたことで、大きな一歩となったと思われる。また体調管理の難しさや、衛生面において日本よりも厳しい状況にあるフィリピンを見てきたことも、今後、さらに海外留学を目指す上で、重要な経験となったのではないかと思われる。

そのほか、「楽しかった」という感想が多数あり、参加学生はそれぞれ良い経験をしたと言えよう (参加学生の感想について一部、誤字を修正してある)。